

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
舞鶴東地区

平成27年3月
京都府舞鶴市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

都市再生整備計画 フォローアップ 報告書 舞鶴東地区		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップに よる確定値	計測時期	フォローアップ時 点での達成 度	確定値が評価値と比較して大きな差異があ る場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定 の別	目標達成度	1年以内の 達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	活気のある賑やかなまちと 感じる人の割合	%	5.5	10	7	確定 ● 見込み	△	あり ● なし ●					<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	全国的な景気低迷、人口減少が進み目標値に達成させることができなかったが、市民が集う拠点として、公園・赤れんが倉庫群の整備を進めることで低下傾向を止めることが出来た。
指標2	赤れんが倉庫群一帯では景観に配慮したまちづくりをしていると感じる人の割合	%	29	50	72	確定 ● 見込み	○	あり ● なし ●	83	H26年10月	○		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	赤れんが倉庫群周辺のハード整備及びソフト事業を実施したことにより効果発現に寄与することが出来た。
指標3	通りの歩行者数	人	1,027	1,200	728	確定 ● 見込み ●	×	あり ● なし ●	797	H23年3月	×	人口減少に加え、自動車利用の高まりによるものと考えられる。	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	市街からの観光客の大半は、移動手段が自動車であるのに加え、人口減少が進む等の社会情勢の変化により、目標値に達成させることが出来なかった。しかし、拠点施設として整備した公園等の利用者は増えており、一定の効果発現に寄与することが出来た。
指標4	中心市街地の往来者数	人	6,140	7,000	5,980	確定 ● 見込み ●	△	あり ● なし ●	5,025	H23年6月	×	人口減少に加え、自動車利用の高まりによるものと考えられる。	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	市街からの観光客の大半は、移動手段が自動車であり、目標値に達成させることが出来なかったが、提案事業と連携を図った基幹事業の整備を進めることで減少傾向を抑制することが出来た。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップに よる確定値	計測時期	フォローアップ時 点での達成 度	確定値が評価値と比較して大きな差異があ る場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定 の別	達成度	1年以内の 達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	赤れんがイベント(赤れんがフェスタ)の参加者数	人	33,000		37,000	確定 ● 見込み ●			55,000	H23年10月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	国民文化祭のイベントにより来訪者が増加したと思われる。
その他の数値指標2	中心市街地の人口	人	6,204		6,368	確定 ● 見込み ●			6,407	H23年10月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	東舞鶴駅周辺の区画整理事業等により住環境の整備が行われたことと、公園整備等の基盤整備により魅力が向上したと思われる。
その他の数値指標3	舞鶴市商工観光センターの来館者数	人	115,174		151,711	確定 ● 見込み ●			148,215	H23年10月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	各種イベントや事業の積極的な実施により来訪者が増加していると思われる。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> 成果を持続させるための行う方策 	まちなかの魅力向上を促進するための啓発活動を強化	・イベント等の開催を広報新聞やホームページなどによりPR	各種イベントや事業の積極的な実施により来訪者が増加していると思われる。	・イベントを根付かせる仕組みづくり等
	新たな観光資源の発掘や魅力の向上及び回遊性の向上	・観光協会との連携による着地型観光ツアーの実施	・地域資源を活かした着地型観光の展開が行なえた。	・情報発信機能、受入体制の強化
	商店街の活性化を図るため、商店街が積極的に取り組む事業に対する支援の強化	・水産業と連携した商店街グルメイベント「漁師祭り」の実施 ・商店街の創意工夫を凝らしたにぎわい創出に対する支援	・地域の「食」を活かした商店街活性化の推進が行えた。 ・NPOやまちづくり団体との連携による商店街イベントの活性化が図られた。	・イベントを根付かせる仕組みづくり等
	安心安全な居住環境とするための社会基盤整備の推進	・中心市街地と幹線道路を繋ぐ和泉通線の道路整備に着手	・事業は進捗中であるが、完成することで歩車道区分が明確となり安全な居住環境の整備が整い、魅力向上が期待される。	・中心市街地で憩える広場整備
	市民との協働による拠点整備の推進	・空き店舗を活用した高等教育機関の活動拠点整備	・高等専門学校のフィールドワーク等を行う活動拠点「商店街ラボ」の開設	・商店街以外の団体等との多様な連携による事業展開
改善策 <ul style="list-style-type: none"> まちづくりの目標を達成するための改善策 残された課題・新たな課題への対応策 その他 必要な改善策 	中心市街地の活性化	・東舞鶴駅北口市有地土地利用の推進	・広域的な集客が図れる商業施設を誘致	・商店街及び地元住民との連携強化
	滞在時間の長時間化	・海軍ゆかりのバス&遊覧船ツアー ・東地区まち歩きツアー（毎週日曜日）	・舞鶴固有の地域資源である旧海軍との関わりを活かし、舞鶴の観光資源をPRするための誘客事業を展開	・情報発信機能、受入体制の強化 ・二次アクセスとの連携強化
	店の魅力アップ等による商店街への来街目的の創出	・商店街「逸品」づくり事業の実施 ・商店街情報誌の発行	・商店街事業者の新品・新サービスづくりの促進、情報発信の強化により、個店の魅力向上、商店街活性化に寄与できた。	・ネット等を活かした情報配信の広範囲化
	利便性の高い土地の活用	・東舞鶴駅北口市有地土地利用の推進	・広域的な集客が図れる商業施設を誘致	・商店街及び地元住民との連携強化

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
人々が集える空間づくり	商店街と一体的な空間(広場)を整備し、中心市街地で人々が集える、憩える場所を創設することで、中心市街地の活性化を図る	H27以降	事業者及び地元住民との連携強化